

「LiveE！プロジェクト第1回サイエンスコンテスト（協賛：ユビテック）」 ～ 高校生・大学生・若手研究者を対象とした環境情報の有効活用コンテストを開催 ～

ユビキタスプラットフォーム事業の創生を目指す株式会社ユビテック（東京都品川区、代表取締役社長：荻野 司、以下「ユビテック」）は、気象情報や都市活動関連情報などの環境情報の収集・活用を推進する「LiveE！プロジェクト」（主査：東京大学教授 江崎 浩 氏）の取り組みに2005年の設立時より参画しており、各地に設置されたセンサで得た種々の情報を地図上に可視化する仕組みを提供しています。

今回、ユビテック協賛による「LiveE！プロジェクト第1回サイエンスコンテスト」を下記の要領にて開催する運びとなりました。

■ LiveE！プロジェクトとは



LiveE！プロジェクトでは、国内外の各地に気象センサを設置し、それらをインターネットに接続することにより、リアルタイムに得られる気象情報や都市活動に関する生きた(Live)、環境(Environment)情報を有効活用するための取り組みを行っています。

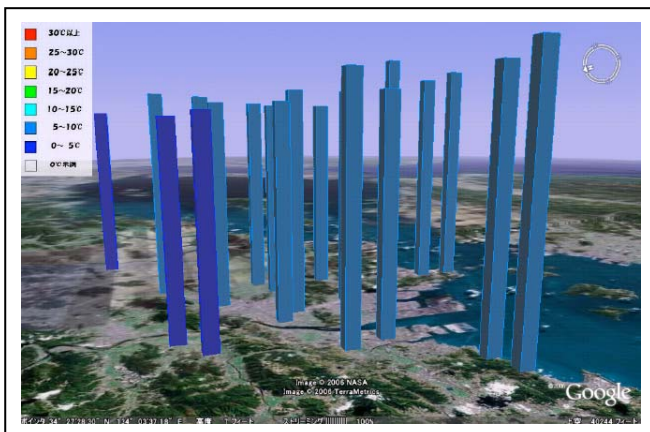
具体的な活動としては、岡山県倉敷市内の中学校に「デジタル百葉箱(小型マルチ気象観測ユニット)」というセンサ(右:写真参照)を約25km×25kmの範囲に26個設置し、デジタル百葉箱から観測された温度・湿度・雨量・風向・風速といった気象の基本的要素となるデータを「市の防災」の参考情報として活用しています。また、空間局所的なデータを取るためにも活用されており、「雨が降り始めたらメールで知らせる」など生活密着型のアプリケーションも登場して成果を挙げています。



デジタル百葉箱

海外でも、18カ国の各拠点に設置されたデジタル百葉箱から観測された気象データを基に、様々な気象に関する研究・開発が行われており、環境問題の改善や災害予防に役立っています。

また、LiveE！プロジェクトの活動により蓄積された知見は、「スマート・コミュニティ」や「ビルエネルギー管理システム」など向けの国際標準通信規格『IEEE1888』の構築にも貢献し、ユビテックにおいては、その中でプロトコルの標準化を行う際の意見交換等の活動に寄与しました(2011年2月2日正式承認)。



岡山県倉敷市に設置されたセンサ網



デジタル百葉箱は、世界各国に設置され、活用されています

■コンテストについて

本コンテストは、LiveE！サーバの提供するセンサデータをいかに有効に活用して成果をあげたかを以下の 3 つの部門で競い合っていただきます。

○センサ部門：LiveE！プロトコル(IEEE1888 として標準化されているもの)に対応したインターフェースを持ち、データインターネットを通じてアップロードできるようなセンサ開発

○データ解析部門：LiveE！サーバで収集している環境情報の解析

○プログラミング部門：LiveE！サーバで提供している API を用いたアプリケーション開発

なお、応募は高校生、大学生、および若手研究者としています(複数人で1つの応募も可)。

■実施要領

コンテスト名	LiveE！プロジェクト第1回サイエンスコンテスト
開催日	2012年 9月15日(土)
開催場所	東京大学 本郷キャンパス 工学部二号館
主催	LiveE！協議会
募集	センサ部門、データ解析部門、プログラミング部門
応募締切	2012年 8月31日(金)
応募方法	E-mail: contest2012@live-e.org
詳細内容	http://www.live-e.org/contest/
審査	書類審査後、優秀な作品は Live E！シンポジウムでポスター(データ解析部門)展示及びデモ(センサ部門/プログラミング部門)発表いただき、当日審査
表彰	優秀作品は、Live E！シンポジウムで表彰いたします。
協賛	株式会社 ユビテック
問合せ先	LiveE！プロジェクト第1回サイエンスコンテスト事務局 E-mail: contest2012@live-e.org

■関連リンク

○LiveE！プロジェクト公式サイト: <http://www.live-e.org/index.html>

○空間ポータルサイト: http://www.map-asp.net/Spatial_Gateway/pl/Gate_100.html

引き続きユビテックでは、様々な情報を提供していくために、環境情報の収集・活用を推進してまいります。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社ユビテック 担当: 管理本部 総務課

電話: 03-5487-5560 FAX: 03-5487-5561